

# 平成29年度 いでは文化記念館運営協議会

平成30年3月14日（水）

9時30分

いでは文化記念館 レクチャールーム

## 〈 次 第 〉

1. 委嘱状の交付
2. 開 会
3. 会長・副会長の互選
4. 会長挨拶
5. 協 議
  - (1) 平成29年度事業実施状況について
  - (2) 平成30年度事業計画（案）について
  - (3) その他
6. 閉 会

いでは文化記念館運営協議会委員名簿 案（任期：H27.4.1～H29.3.31）

NO.	区分等	氏 名	部 会	所 属 等	推薦根拠
1		島津 慈道		羽黒山正善院 住職	学識経験 出羽三山文化 鶴岡市文化財保護審議委員
2		粕谷 典史		宿坊組合組合長	地域連携
3		後藤 越司		出羽三山山岳宗 教研究所主幹	学識経験・古文書
4		宮野 直生		出羽三山神社 出羽三山歴史博 物館 館長	出羽三山文化
5		工藤 純平		NPO 蜂子山中社	地域連携

（敬称略）

事務局体制（平成29年度）

	氏 名	所 属 等	備 考
1	碓氷 好弘	羽黒庁舎産業建設課課長(併)農業委員会事務局羽黒分室長	
2	上林 喜博	羽黒庁舎産業建設課課長補佐(兼)観光商工主査	
3	伊藤 孝之	羽黒庁舎産業建設課観光商工専門員	
4	横田 淳一郎	羽黒庁舎産業建設課主事	

指定管理者（羽黒町観光協会 平成28年4月1日から）

	氏 名	所 属 等	備 考
1	佐藤 茂	羽黒町観光協会 事務局長	
2	吉住 弘幸	羽黒町観光協会 係長	
3	斎 安奈	羽黒町観光協会 いでは文化記念館 学芸員	
4	菅原 真一	羽黒町観光協会 主事	
5	齋藤 聖子	羽黒町観光協会 嘱託職員	
6	早坂 美津穂	羽黒町観光協会 事務員	

## 平成29年度 いでは文化記念館事業 実績

### 1. 企画展示

#### (1)「第17回出羽三山の里フォトコンテスト入選作品展」

展示期間：平成29年4月19日(木)～6月26日(月)

展示内容：羽黒町観光協会で開催する『出羽三山の里フォトコンテスト』の入選作品を集め展示し、来館者に出羽三山の魅力を発信すべく企画展示を行った。

#### (2)「摩訶不思議！出羽三山展—山伏×妖怪×神さま仏さま—」

展示期間：平成29年7月7日(金)～11月27日(月)

展示内容：出羽三山の世界には異形の姿をした神仏、妖怪、人(修験者)が存在する。羽黒地域をはじめ、山形県内、岩手県内に残る出羽三山信仰を伝える資料の数々から人々が大自然に対し何を想い、敬い、畏れ、崇めてきたのかを探った。

#### (3)「収蔵資料展～絵葉書・古写真にみる明治・大正・昭和の出羽三山～」

展示期間：平成29年11月30日(木)～平成30年4月16日(月)

展示内容：当館所蔵資料の中から明治・大正・昭和時代の出羽三山の絵葉書や写真資料にスポットをあてて展示した。なくなってしまった建物や自然の風景など、当時の絵葉書・写真から、かつての出羽三山の風景を偲んだ。

### 2. いでは文化記念館企画展示記念講演会

#### (1)企画展開催記念ギャラリートーク「於竹大日如来と不思議なガラ紡」

講師：天野武弘氏（愛知大学 中部地方産業研究所）

○日 程／7月8日(土) 13:30～14:30

○参加人数／30名

○目 的／企画展示「摩訶不思議！出羽三山展—山伏×妖怪×神さま仏さま—」の開催記念ギャラリートークとして、「於竹大日如来」を祀る於竹大日堂から発見されたガラ紡について、近代日本の紡績機の歴史的変遷の視点からお話いただいた。

○関係団体／いでは文化記念館・羽黒町観光協会・愛知大学 中部地方産業研究所

#### (2)企画展記念イベント「鬼と天狗の舞—岩手×山形 民俗芸能合同公演会—」

出演：滑田鬼剣舞保存会（岩手県北上市滑田）

○日 程／10月7日(土) 13:30～15:30

○参加人数／60名

○目 的／企画展示「摩訶不思議！出羽三山展—山伏×妖怪×神さま仏さま—」の開催記念公演として、大同年間に羽黒山で舞われ、山伏によって広められたという岩手の民俗芸能・鬼剣舞の滑田鬼剣舞保存会による演舞と、山形県庄内地域の天狗舞の紹介を行った。

○関係団体／いでは文化記念館・羽黒町観光協会・鶴岡市教育委員会・北上市立鬼の館・滑田鬼剣舞保存会

### 3. 「羽黒山歴史探訪～門前町編～」

羽黒山信仰を連綿と支えてきた門前町・手向地区。修験者が住み信仰の歴史を伝える文化財が点在する門前町の歴史にスポットをあてその魅力を探った。

#### (1) 『門前町・手向を歩くパートⅠ』

- 講師／勝木 正人氏（手向地区自治振興会会長・光林坊）
- 日程／9月7日（木） 8:30～13:30
- 参加人数／20名
- 目的／赤坂薬師神社、蝦夷館公園、旧蓮台寺跡、玄良坊屋敷跡、黄金堂、八坂神社など手向集落史跡を探訪。神林坊で精進料理の昼食をいただいた。
- 共催／羽黒町観光協会

#### (2) 『門前町・手向を歩くパートⅡ』

- 講師／渡部 幸氏（出羽三山歴史博物館学芸員）
- 日程／11月3日（金・祝） 9:00～13:30
- 目的／桜小路集落を中心に、上町集落の史跡と歴史に触れながら歩いた。三光院で宿坊見学後、精進料理の昼食をいただいた。
- 参加人数／35名
- 共催／羽黒町観光協会

### 4. 古文書解読・歴史講座『出羽三山を読む』

- 目的 出羽三山に関する歴史的史料を紐解き、古文書の解読技術の向上と出羽三山の歴史を広く学ぶ機会とする。
- 講師 後藤 赴司氏（出羽三山山岳宗教研究所 主幹）
- 会場 いでは文化記念館レクチャーホール
- 日時 6月～10月まで 毎月第2・4木曜日 ※本年は5月～9月期間に行った。
- 回数 全10回

平成18年度から実施している事業で、これまで参加者の要望等も反映しながら年々講座内容を充実させてきた。平日開催に関わらず参加者が多く、出羽三山の歴史の学習も含め古文書の解読に熱心である。

23年度からは、古文書と合わせて実地研修を実施し、年々参加者の理解と興味が深まっている。参加者からは、それぞれの地域に存在する出羽三山関係の古文書についての問い合わせもあり、新たな歴史史料の発掘も期待できる。

このような参加者の意識の広がりや、重要史料の散逸や消滅の防止となり、地域の歴史と文化の継承につながっていく。

※H29実績 講座回数 全10回、申込者30名、述べ参加者196名

## 平成29年度その他イベント

\*第59回奥の細道羽黒山全国俳句大会 9月16日(土)・17日(日)



企画展示記念ギャラリートーク (天野武弘氏)



企画展示記念公演 (滑田鬼剣舞保存会)



第59回奥の細道羽黒山全国俳句大会①



第59回奥の細道羽黒山全国俳句大会②



羽黒山歴史探訪 I



羽黒山歴史探訪 II

## 添付書類

- \*平成29年度
- ・入館者実績
- ・施設利用実績
- ・入館料実績

## 平成30年度 いでは文化記念館事業（案）

### ①古文書解読・歴史講座『出羽三山を読む』

- 目的 出羽三山に関する歴史的史料を紐解き、古文書の解読技術の向上と出羽三山の歴史を広く学ぶ機会とする。
- 講師 後藤赴司氏（出羽三山山岳宗教研究所 主幹）
- 会場 いでは文化記念館
- 日時 6月～10月まで 毎月第2・4木曜日  
※いずれかの回1回は実地研修
- 回数 全10回
- 平成29年度使用テキスト・・・湯殿山装束場立札一科訴状写（寛政年中湯殿山高札一件目安控）、羽黒山修験密法灌頂伝持血脈、覚（酒井家世紀）、覚（増川山山論）ほか

平成18年度より実施している事業で、参加者の要望等も反映し講座内容を年々充実させてきた。平日の開催にもかかわらず、多くの皆さんが興味を持ち出羽三山の歴史の学習も見学することで年々参加者の理解と興味も深まっている。

参加者の地域に存在する出羽三山関係古文書の問い合わせも出てきていることから今後新たな歴史史料の発掘も期待でき、また、それぞれの地域の歴史と文化の継承への一助にもなっている。こうした参加者の意識を広げていくことで重要史料の散逸・消滅の防止にもつながる。

出羽三山の歴史・文化を継承するべく人材育成のために今後とも継続して事業を実施していくとともに、新しい世代の発掘を行う。

#### —古文書解読・歴史講座参加人数—

実施年度	申込者数	延べ人数
平成18年度（講座回数：全14回）	17名	152名
平成19年度（講座回数：全13回）	35名	254名
平成20年度（講座回数：全12回）	50名	300名
平成21年度（講座回数：全13回）	67名	373名
平成22年度（講座回数：全11回）	53名	293名
平成23年度（講座回数：全12回）	54名	325名
平成24年度（講座回数：全12回）	55名	324名
平成25年度（講座回数：全12回）	46名	227名
平成26年度（講座回数：全12回）	52名	238名
平成27年度（講座回数：全10回）	44名	271名
平成28年度（講座回数：全10回）	38名	196名
平成29年度（講座回数：全10回）	30名	196名

## 平成30年度 いでは文化記念館企画展示（案）

(1) 展示名「第18回出羽三山の里フォトコンテスト入選作品展」

展示期間：平成30年4月19日(木)～6月25日(月)

展示内容：羽黒町観光協会で開催する『出羽三山の里フォトコンテスト』の入選作品を集め展示し、来館者に出羽三山の魅力を発信し誘客の契機を目的とする。

(2) 展示名「観音様と羽黒山—合祭殿再建二百年記念・覚諄別当とその時代—」

展示期間：平成30年6月29日(金)～11月26日(月)

企画趣旨：平成30年は、庄内札所三十三霊場（庄内三十三観音霊場）において8年ぶりに『庄内三十三観音霊場 御開帳』が開催される。そこで、観音様と羽黒山の関係に焦点を当て、観音様と羽黒修験との深い関わり（羽黒山の観音信仰）や『庄内三十三観音霊場御開帳』にちなんだ観音巡礼の歴史・基礎知識などを紹介し、来館者に出羽三山の山岳信仰と観音巡礼についての理解を深めてもらう。そして平成30年は、羽黒山頂にある三神合祭殿の再建二百年の記念の年である。そこで羽黒山第75代別当・覚諄の業績、第50代別当・天宥との関わりに大きく焦点を当てる。

(3) 展示名「収蔵写真展—内藤正敏が映す出羽三山の世界—」（仮）

展示期間：平成30年11月30日(金)～平成31年4月15日(月)

展示内容：当館所蔵の内藤正敏氏による出羽三山の世界を映した写真を展示する。  
写真家にして民俗学者、秋の峰入りに入峰経験のある内藤氏が独特の世界観で映し出す、出羽三山の四季の様々な表情に触れる写真展。

### 【案】企画展示記念イベント

関連イベント案① 『三神合祭殿再建二百年記念・

羽黒山伏と行く 覚諄別当ゆかりの史跡を辿る羽黒山登拝』：

黄金堂を起点に五重塔・合祭殿(寂光寺金堂)、荒澤寺(地藏堂)へ続く、覚諄別当ゆかりある参拝ルートを羽黒山伏先達のもと登拝する。

※①黄金堂、②随神門～山頂、③山頂～荒澤寺の3回シリーズ。

○日時／ ①6月 3日(日) 9:00～12:00

②6月17日(日) 9:00～12:00

③6月30日(土) 9:00～12:00

※各回、登拝後に希望者は宿坊での昼食あり(予定)

○場所／①黄金堂

②随神門～羽黒山石段参道～五重塔～南谷～蜂子神社(開山堂)～合祭殿

③蜂子神社(開山堂)～合祭殿～旧月山道～吹越籠堂～荒澤寺

○講師／ 林 慈空氏(荒澤寺正善院山伏、荒澤寺秋の峰・関伽先達補)

長南 弘道氏(荒澤寺正善院 副住職)



## 関連イベント案② 企画展記念講演会『羽黒山の観音信仰』（仮）

講師：島津弘海氏（羽黒山荒澤寺正善院住職）

○日時／10月 13日（土） 13：30～15：00

○場所／羽黒山荒澤寺正善院 本堂・黄金堂

○目的／企画展示「観音様と羽黒山—合祭殿再建二百年記念・覚諱別当とその時代—」の記念講演会として、島津弘海住職に、観音様と羽黒修験との深い関わり（羽黒山の観音信仰）や、また黄金堂に像の安置された覚諱別当についてお話しいただく。

その他イベント・事業案：企画展クイズラリー開催

企画展図録販売

（フルカラー16ページ 2～300部：一部500円（税込）予定）

## ②「羽黒山歴史探訪」

いでは文化記念館設置趣旨である「出羽三山文化の学習活動を高め、もって地域文化振興に資する」ため実際に周辺史跡を探訪し、羽黒山の深い歴史を身近なところから知る機会を作り地元の文化財の見直し、次世代の継承、保存意識の啓発を目的とする。

### （1）「門前町・手向を歩く—大鳥居～金剛樹院～自坊小路」（仮）

○講師／交渉中

○日程／9月（ ） 9：00～13：30

○目的／大鳥居から中の坂、赤坂薬師神社、金剛樹院（御開帳拝観）、的場小路、自坊小路を歩きます。宿坊で護摩祈祷と精進料理をいただきます。

○コース／大鳥居—中の坂—赤坂薬師神社—庚申碑—案内所—金剛樹院—的場小路—六字橋跡—自坊小路—黄金堂—昼食（宿坊 ） 解散

### （2）「芭蕉の足跡をたどる—羽黒山編—」（仮）

○先達／交渉中（宿坊 ）

○日程／10月（ ） 9：00～14：00

○目的／元禄二年、松尾芭蕉が来山し三山登拝、羽黒山に滞在した芭蕉の足跡をたどる。俳句関係句碑も探訪する。昼食は山頂の斎館で芭蕉膳を楽しむ。

○コース／図司呂丸屋敷跡—宿坊街—随神門—石段—二の坂茶屋で休憩（力餅）—御本坊跡—南谷—山頂史跡（三山句碑）—斎館で芭蕉膳 解散